



ほっと通信 NO. 63

今冬は、降雪時期が早く大変な積雪量となった地域もありましたが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。上越市高田の百万人観桜会も終了し、北陸新幹線の開業もあって県内外から来越されたようで、お天気も大崩れすることなく（ブルーインパルスのある日を除いて）、例年に比べても長期間「桜」を楽しめたのではないのでしょうか。

さて、本協議会は第 17 期を迎えて活動を開始しておりますが、この度、今期の「ほっと通信」第 1 号となる No. 63 をお届けいたします。今後も皆様の健康管理のお役に立てるような通信を目指してまいりますので、どうぞご愛読くださいますようお願い申し上げます。

★新役員による「役員会」を開催 第 17 期 事業計画が決まる



去る 1 月 30 日に役員会を開催し、第 17 期の事業活動について具体的な協議が行われました。今期も計画に基づき、事業活動を充実させてまいりますので、会員皆様のご協力をお願いいたします。

<総務部>

□今後の連絡協議会の運営について

- ・これまでと同様、会則及び諒解事項に基づき円滑な協議会の運営を図る
- ・19 期以降の担当役員名簿の確認と新規事業所の名簿追加確認
- ・退職者健診結果移行事業の継続

□上越保健所への事業協力

- ・多くの会員よりご協力いただいた「サラ飯」の調査事業の継続

担当役員：(株)サトウ産業（会長）／介護老人保健施設高田の郷／(株)荷屋建設／(株)北越銀行高田支店
／三星工業



<広報・渉外部>

□健康情報提供について

- ・これまでと同様、ほっと通信は年 4 回発行、メールマガジンは随時発信する。

※事業所活動紹介、健康に関する事項、ストレスチェック関連、インフルエンザ流行期の情報提供 等

□その他の事業：新規会員募集やホームページ掲載

担当役員：社会福祉法人新井頸南福祉会（副会長）／(株)イズミ／(株)サトコウ／日本曹達(株)二本木工場
／(株)バイタルネット／ホテルセンチュリーイカヤ

<事業部>

□担当者研修会について

- ・5 月、8 月の年 2 回を予定し、ストレスチェック、うつ病、パワハラ、食の安全等をテーマに実施。
- ・新潟産業保健総合支援センターとの共催研修会を実施予定。

□視察研修について

- ・10 月上旬頃に「食」をテーマにした研修として実施。視察地は未定。

担当役員：(株)三原田組（副会長）／家'Sハセガワ／(株)小島組／シゲル工業(株)上越工場／新印上越青果(株)／(株)セライズ／大栄建設(株)／ホテルハイマート／(株)松ヶ峰カントリー倶楽部／丸運建設(株)上越支店

健康に関する質問や体験談がありましたら、お気軽に FAX・メール等でご連絡下さい。

<連絡先>

TEL : 025-524-7111 FAX : 025-522-2434 E-mail : kyougikai@joetsu.niigata.med.or.jp

住所：〒943-8555 上越市春日野 1-2-33 上越地域総合健康管理センター内 連絡協議会事務局「ほっと通信」編集係

私達の事業所紹介します!

社会福祉法人 新井頸南福祉会

住所：妙高市大字上新保 549 番地
(特別養護老人ホームみなかみの里内)
電話：0255-73-7560

I 事業所の概要

当法人は、昭和 63 年に法人を設立し、平成元年 7 月、妙高市で初めての特別養護老人ホーム「みなかみの里」の事業開始から既に 25 年が経過しました。この間、新井頸南地域における老人福祉サービスの中心的な担い手として、多くの施設整備や様々な新規事業への参入を進めてまいりました。

新井地区、妙高地区、妙高高原地区および上越市中郷区に、特別養護老人ホーム（地域密着型含む）4 か所、短期入所 2 か所、通所介護 4 か所、訪問介護 2 か所、居宅介護支援 3 か所、小規模多機能型施設 3 か所、認知症グループホーム 1 か所、有料老人ホーム 1 か所を運営する他、妙高市からの委託事業も実施しております。

社会福祉を取り巻く環境が大きく変わる中、今後も法人の基本理念である「心温かな介護を通じ、生きる喜びと感動あふれる地域社会づくりをめざす」ために、利用者サービスの向上あるいは地域福祉の推進に取り組み、地域社会の発展に貢献してまいります。

II 健康づくり活動状況

当法人の健康管理・健康づくり活動状況は、年 1 回の定期健康診断と夜勤従事者の健康診断を上越医師会様にて実施しており、健康診断後には再検査の呼びかけや、施設ごとの健診結果を集計して周知し、産業医による健康相談も実施しております。また、腰痛予防やメンタルヘルス対策にも力を入れており、禁煙対策としては喫煙室を設け分煙を行っています。福祉施設にとって感染症予防は重要であり、全職員のインフルエンザ予防接種を産業医の協力により実施し、手洗い・うがいの励行は年間を通じて呼びかけております。

福祉の仕事は、自身の健康管理も重要な仕事です。常勤職員約 260 名、パート職員約 140 名、18 歳から 70 歳以上と幅広い年代の職員が就業しており、明るく健康に働ける職場環境づくりを行いたいと思っております。今後とも協議会会員皆様からのご指導のほど、よろしくお願いいたします。

今話題の「胃がんリスク検診(ABC検診)」について

(1) 胃がんリスク検診(ABC検診)とは

胃がんになるリスク(危険度)に分類する血液検査です。胃がんになりやすいか否かを ABCD に分類します。

(2) 検査の項目

ヘリコバクターピロリ抗体検査(血液中のピロリ抗体価を測定してピロリ菌感染の有無を調べます)とペプシノゲン検査(血液中のペプシノゲン値を測定して胃粘膜の萎縮度を測り萎縮性胃炎の有無を調べます)とを組み合わせ、胃がんになりやすいか否かをリスク分類します。

(3) 留意事項

この胃がんリスク検診(ABC検診)は、直接胃がんを発見するための検査ではないため、バリウム検査や胃内視鏡の検査に代わるものではありません。なお、検査結果が「精検不要」と判定された場合でも、胃がん罹患するリスクが“0”になるわけではありません。年に 1 度は胃バリウム検査や内視鏡検査の受診をお勧めします。

(4) 次に該当される方は検診を受診できません

○ピロリ菌の除菌治療を受けたことのある方 ○胃の病気で治療中の方
○胃酸を抑える薬を服用中の方 ○胃の手術により胃を切除された方 ○腎不全の方